

編集後記

各地で運動会の歓声があがるようになった昨今、予定よりやや遅れましたが会誌一〇三号をお届けします。本号は期せずして近世中心の内容となりました。

半田氏の論説は幕藩制成立期の農村問題を百姓移動の点から追求した注目すべき報告であります。成田氏はキリシタン史研究の新しい方向付けとして外国史料に基づく実証的研究を寄せられました。宗像氏の報告は空白状況の本県近世美術史研究に一石を投じたもので今後の研究指針となるものです。史料紹介には豊後キリシタン研究会スペイン語部会の日常活動の成果として初めての原典解読を、また豊田氏による時枝領騒動の続編を収めました。

深まる秋に向けて会員諸氏の一層のご奮闘をお願いする次第です。

(秦 記)

昭和五十六年九月二十日 印刷
昭和五十六年九月二十五日 発行

大分県地方史 第一〇三号

編集者 秦 政 博

発行者 渡 辺 澄 夫

印刷者 中 尾 寿 孝

別府市中央町九一―一五

印刷所 日の丸印刷株式会社

(電話 ②〇三四一)

発行所

〒八七〇一一 大分市旦ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関五二九四番)